

# 臨床病理論11

火曜4限

## 腫瘍(1)

医療経営学科

研究室 7階 第5研究室

江原 朗

# 腫瘍の定義

- 生体内の細胞が合理的増殖ではなく、異形成を取り、自立性を持ち一方的に過剰増殖したもの
- 異形成: ある組織や細胞が形態上正常範囲を逸脱した場合

# 細胞診と異型細胞

- 細胞診の分類(パパンニコロウ染色)
  - クラス I ... 異型細胞が認められない
  - クラス II ... 異型細胞は認められるが、悪性の疑いはない
  - クラス III ... 異型細胞は認められるが、悪性と断定できない
  - クラス IV ... 悪性の疑いが濃厚な異型細胞を認める
  - クラス V ... 悪性と断定できる異型細胞を認める

# 自律性増殖と過剰増殖

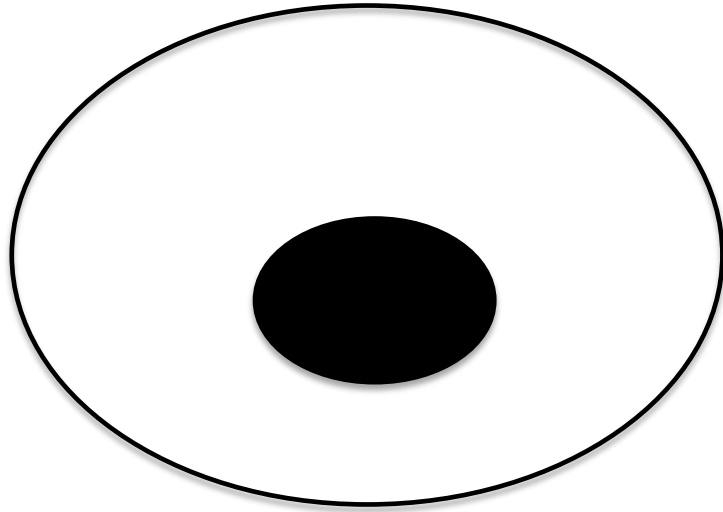
- 自律性増殖：無統制、無秩序、不可逆的、無目的的
- 過剰増殖：非合目的な増殖

# 腫瘍細胞の困った点

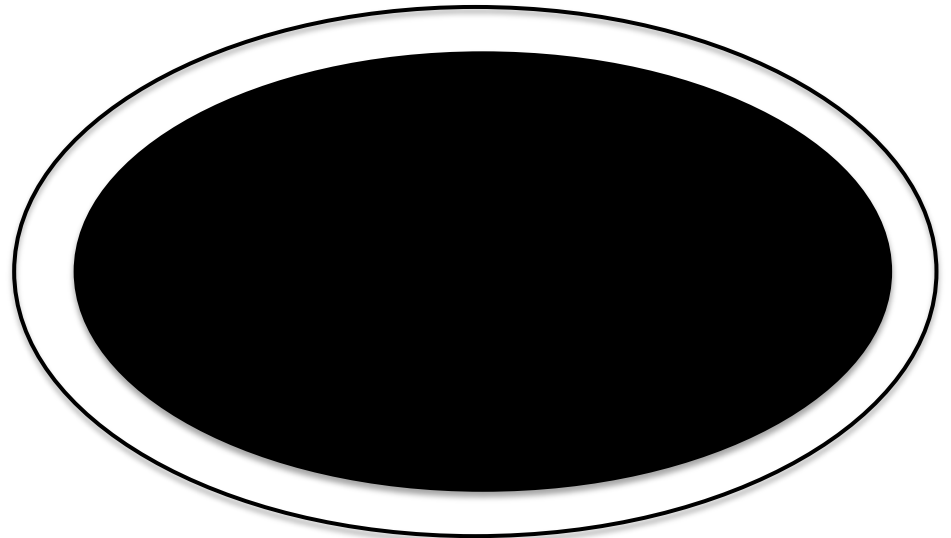
- 早期には自覚症状が乏しい
- 種類が多い
- 転移・再発しやすい
- 生体の免疫機能にかかりにくい
- 全身の栄養を消費して、悪液質を作る
  
- 悪液質：全身状態が衰弱して、皮膚の色素沈着や眼瞼の浮腫を来す

# 悪性細胞の特徴

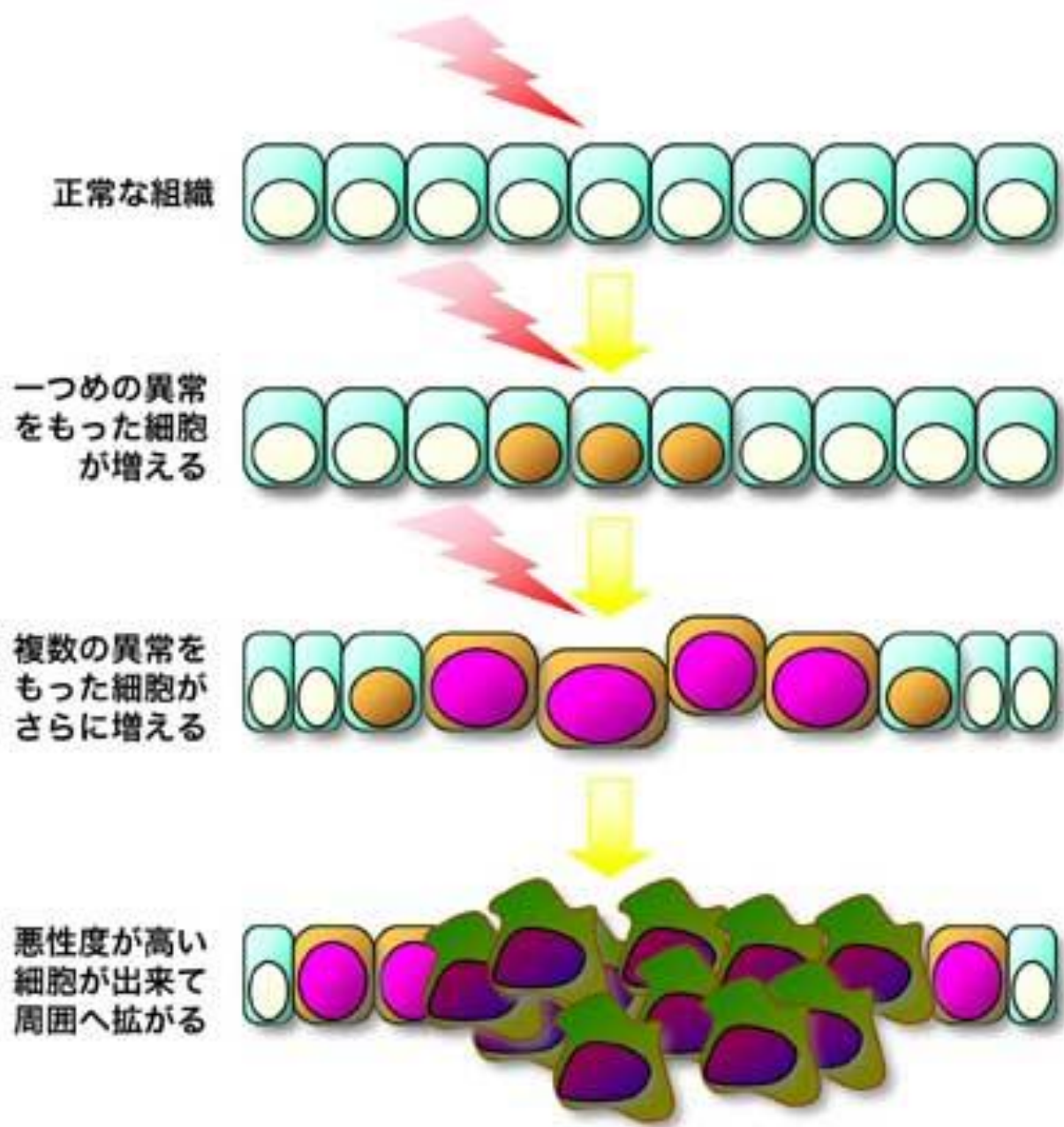
- 核・胞体比 (N/C比) が高くなる
- 核のクロマチンの増量、過染性
- 核小体の増大、増多
- 染色体の異常
- 胞体当好塩基性に染まる



正常細胞



惡性腫瘍



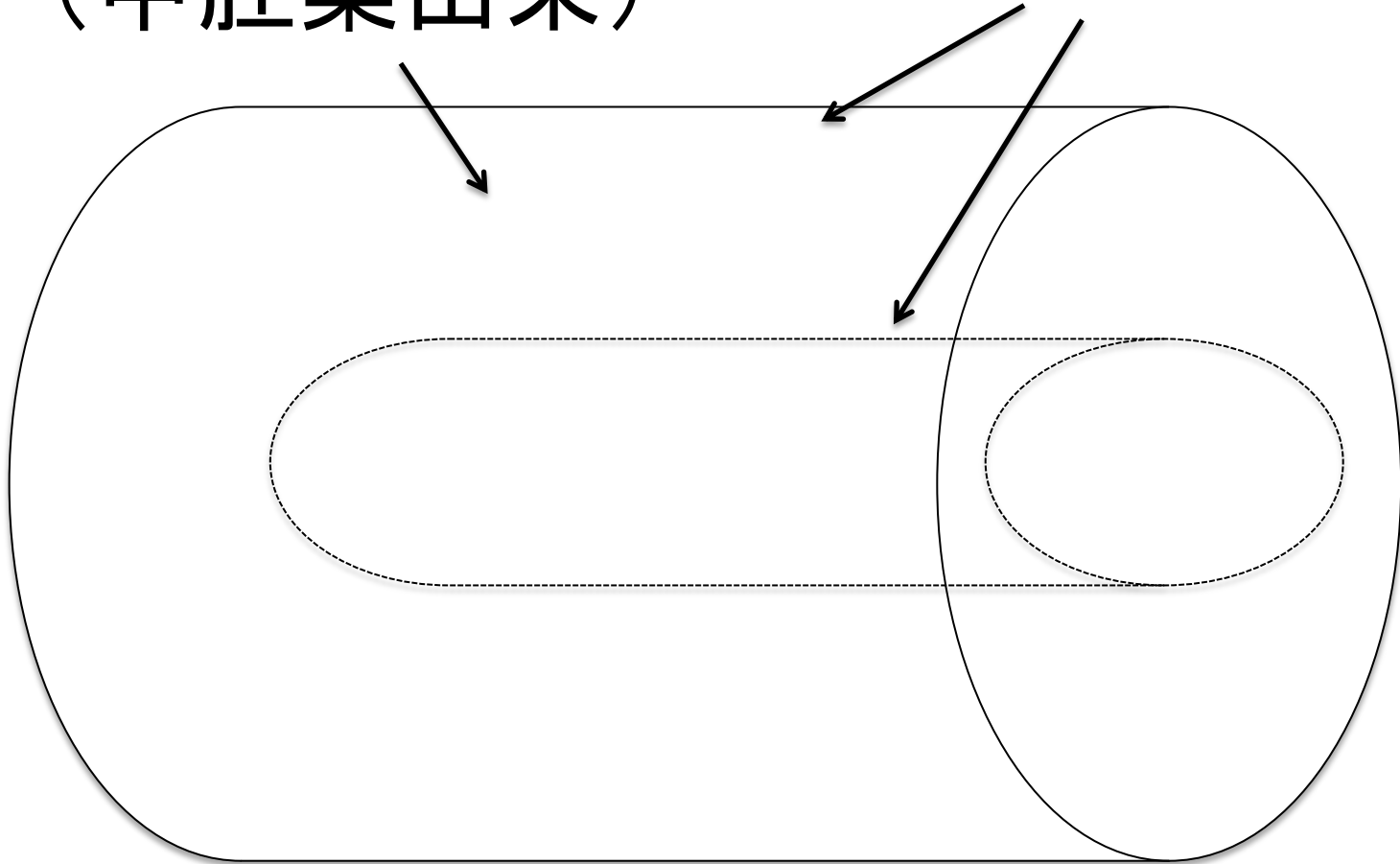


# がんと肉腫

- 造血器：白血病など
- 上皮細胞：癌（がん：癌腫）
- 非上皮性細胞：肉腫（にくしゅ）

非上皮  
(中胚葉由来)

上皮  
(外胚葉、内胚葉由来)



# 悪性腫瘍

- 悪性腫瘍

- 1) 自律性増殖: がん細胞はヒトの正常な新陳代謝の都合を考えず、自律的に勝手に増殖を続け、止まることがない。
- 2) 浸潤と転移: 周囲にしみ出るように広がる(浸潤)とともに、体のあちこちに飛び火(転移)し、次から次へと新しいがん組織をつくってしまう。
- 3) 悪液質(あくえきしつ): がん組織は、他の正常組織が摂取しようとする栄養をどんどん取ってしまい、体が衰弱する。

# 良性腫瘍

- 「自律性増殖」はする
- 「浸潤と転移」: なし
- 「悪液質」: なし
- 増殖のスピード: 悪性腫瘍に比べるとゆっくり
- 症状: 圧迫症状あり、再発なし